

施工説明書

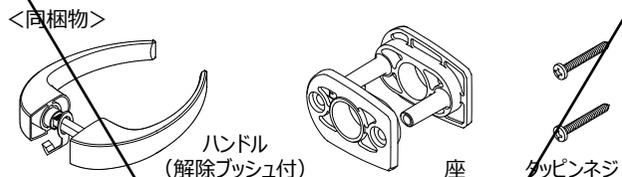
! 錠は出荷時「右吊元」です。「左吊元」の場合は、フロント板を外しラッチボルトを反転させてください。

⊘ 固定用のネジを締め付ける際は、必ず手回しドライバーをご使用ください。トルクの強い電動ドライバーを使用した場合、部品が破損するおそれがあります。

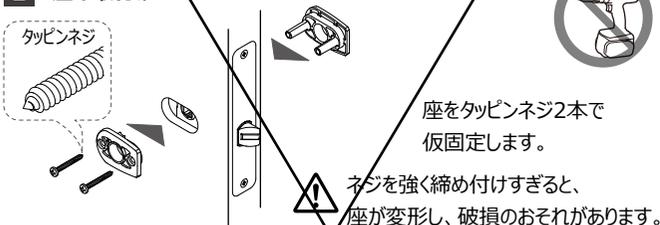
「注意すること」を示します。

⊘ 「してはいけないこと」を示します。

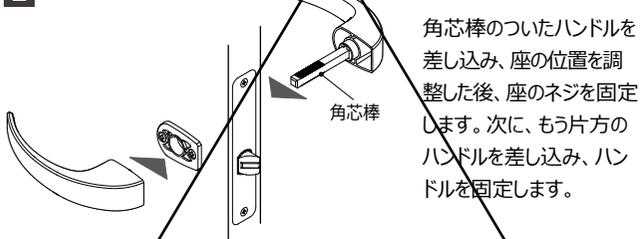
空錠の場合



1 座の取付け



2 ハンドルの取付け



3 完成



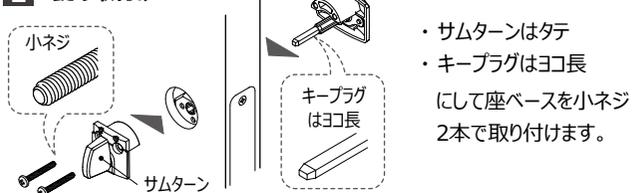
間仕切・表示錠の場合



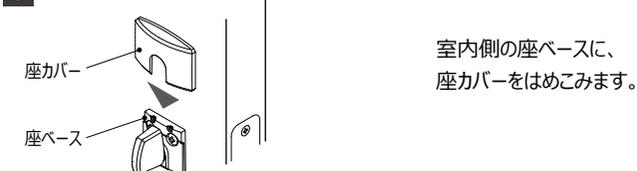
1 座・ハンドルの取付け

ハンドル部の取付けは空錠と同じです。

2 錠の取付け



3 錠カバーの取付け



4 完成



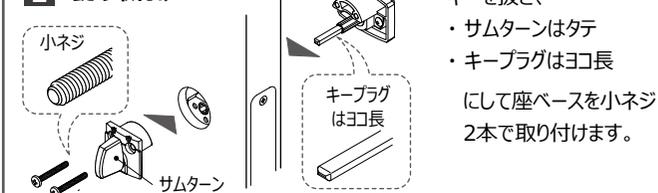
簡易シリンダー錠の場合



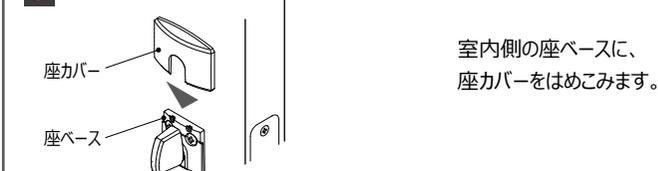
1 座・ハンドルの取付け

ハンドル部の取付けは空錠と同じです。

2 錠の取付け



3 錠カバーの取付け



4 完成



「施工業者様へお願い」

弊社では、お施主様が製品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項や、お手入れ方法などの重要な内容を記載した「取扱説明書」を添付しております。必ず、お施主様に手渡ししていただけますよう、お願い致します。
(弊社ホームページ <http://www.daiken.jp/>よりダウンロードも可能です)

施工説明書

ハンドルの作動が鈍い時の調整方法

※ ハンドル取り付け後、ハンドルの動きが良くないときは、座と箱錠を固定しているネジを少しずつ緩めて調整します。

1. 解除プッシュを使いハンドルを取り外します。
2. 箱錠フロントプレートのネジ2本と、座のタッピンネジ2本を少しずつ緩めて調整します。
3. 角芯棒のついたハンドルを差し込み、ハンドルの動きを確認します。
4. **空錠の場合 2** 以降の手順でハンドルを固定します。



取扱い説明書

表面のお手入れについて

1. 表面にキズを付けたりしないように注意してください。
2. 表面が汚れた場合は、柔らかい布で軽く拭いてください。
3. 特に落ちにくい汚れが表面に付着したら、柔らかい布に中性洗剤を含ませて拭き取り、水を含ませた柔らかい布で中性洗剤を完全に拭き取ってから、乾いた布で水分を拭き取ってください。

